

愛知県の取組

・愛知県災害多言語支援センター設置事業

県内に大規模な災害が発生した場合に、多言語による情報提供や被災市町村に対する翻訳・通訳支援を行うことで、日本語を十分に理解できない外国人県民等についても日本人と同等レベルの災害支援を受けられるようにするため設置される「愛知県災害多言語支援センター」の機能強化を行う。

＜実績＞

	2014	2015	2016	2017	2018	2019 (予定)
災害多言語支援センター検討会議	3回	2回	2回	1回		
災害多言語支援センター設置・運営訓練		1回	2回	1回	1回	1回
ボランティアに対する研修参加の助成		実施	実施	実施		
災害時外国人支援活動講座			1回	3回	2回	2回
災害時外国人支援ボランティア研修会				2回		3回
ネットワーク会議の開催						1回

・外国人県民早期適応推進事業費【新規】

外国人県民がスムーズに生活できるよう、愛知モデルとして全国に先駆けて早期適応研修のカリキュラム及び教材等を作成し、外国人材受入企業等へ普及を図り、外国人県民が安心して暮らせる環境を整備する。(地域創生推進交付金を活用・補助率 1/2)

ア 早期適応研修カリキュラム検討会議の開催

研修のカリキュラムや教材、指導方法等について、学識者等から意見や提案を伺う会議を開催し、効果的な研修内容の検討を行う。

イ 早期適応研修カリキュラム、教材、指導マニュアルの作成及び配布

ウ 普及のための取組

(ア) リーフレットの作成 (4,500部)

(イ) 説明会の開催

a 開催場所及び実施回数

3回(名古屋地区、西三河地区、東三河地区 各1回)

b 対象者

受入れ企業、登録支援機関の担当者、市町村・市町国際交流協会の職員、NPO等
外国人支援者 など